



紹介者 第一工場 本堂チエミ さん(写真左)
松浦奈帆 さん(写真右)

▼どんな会社ですか
羽毛布団や婦人・子ども服などの縫製をしています。社員同士がコミュニケーション

まちの企業 探検隊⑨ (株)サンコーソー イング西根工場

企業人による会社紹介

所在地 大更25-202-1
資本金 1,000万円
代表者 中川 弘行
設立 昭和48年4月
従業員数 48人
電話番号 76-3300
事業内容 羽毛寝具・衣料の製造、プラスチック成型品の加工・選別
主な取引先 西川リビング(株)、光隆ジャパン(有)

▼どんな仕事をしていますか
現在は、加湿器などに使うフィルターの製造をしています。1日15000〜30000枚作ります。
▼仕事で心掛けていることは
ミシンを使つての作業になるので、不良品を出さずに1個でも多く製品を作ること心掛けています。
▼やりがいを感じることは
最初はうまくいかなかった、特殊な生地縫製ができるようになったときに、やりがいを感じます。
▼今後の展望は
縫製をすることが大好きなので、工夫を重ねて、さまざまな高品質の製品を提供していきたいです。



団モットー「一心」のもと、練習を頑張る団員たち

No.4 寺田柔道
スポーツ少年団
寺田柔道スポーツ少年団は、平成9年4月に設立したスポーツ少年団です。これまで地区の大会で個人・団体ともに多数入賞しているほか、同スポーツ所属の田村仁美さん(西根第一中2年)が7月の県中学校総合体育大会女子70kg超級で優勝するなど活躍を見せています。
現在は、小学校2年生から



暑さに負けず元気に練習しています

われらスポーツ少年団

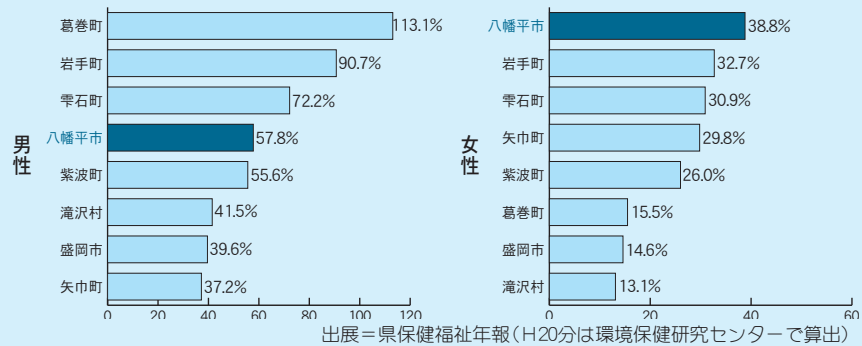
No.60 広報クイズ 9月2日号の問題

今年の成人式の
対象者と出席者
足したら何人？

正解者の中から抽選で3人に500円分の図書カードをお贈りします。
◎応募方法 はがき、FAX、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。答えのほか、広報の感想や意見などを必ず書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。
◎応募先 八幡平市役所「広報クイズ係」 ☆はがき〒028-7192(住所不要)
☆FAX 75-0469 ☆メール somuka@city.hachimantai.lg.jp (タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は右の二次元コードから送信できます)
◎応募期限 9月27日(日) 消印有効
◎第59回の正解 「27番目」 ◎応募者数 10人 ◎正解者数 10人
◎当選者 佐々木俊一さん(西根寺田)、山口徹さん(野駄)、阿部綾乃さん(石名坂下夕)



【参考】県央保健所管内の自殺死亡率(H16〜20平均)



9月は県自殺予防月間
県では、自殺者が毎年50人前後で推移し、自殺死亡率が全国3位(20年度)であることから、深刻な社会問題となっています。9月10日から16日までの国の「自殺予防週間」に合わせ、9月を「県自殺予防月間」としています。

乳・子宮がん検診実施
10・12月に乳がん、子宮がん検診を実施します。
【無料対象者】①本年度の対象年齢で、検診を受けていない人②女性特有のがん検診推進事業の対象年齢の人(子宮がんⅡ20・25・30・35・40歳乳がんⅡ40・45・50・55・60歳)
※①、②以外で希望する人も受診できます(有料)。
日程など詳しくは、全戸配布のチラシで確認ください。

市自殺予防標語・最優秀賞
「その命 あなた一人のものでない」
伊藤祐一(南寄木)

市で平成15年から19年までの間に自殺で亡くなった人は86人(年平均17・2人)で、県内で4番目に高い自殺死亡率です。男性は40〜60代が68%、女性70代以上の高齢者が62%を占めています。
市では、自殺を地域課題と考え、自殺予防対策推進協議会を7月30日に設置しました。自殺の現状を知り、自殺予防に関する知識の普及と自殺対策に関心のある市民を増やしていきます。

保健のひろば

☎・内線1151 市市民部保健課

介護のココロ

☎・内線1185 市福祉部長寿社会課

◆「結」のココロで見守り活動
100歳以上の高齢者の所在不明が全国的に問題となっています。

7月末現在、市内には最高齢・105歳をはじめとして、19人の100歳以上の高齢者がいますが、皆さん元気に過ごしています。

そのうち14人は、施設や病院で生活しています。残り5人は、デイサービスなどの介護保険サービスを利用しながら、自宅で生活しています。中には、サービスを利用せずに生活している人もいます。

市では、高齢者の皆さんが楽しく安心して暮らすことができるように、民生委員やボランティアを中心とした見守り活動を実施しています。結のココロを大切に、これからも助け合うのが当たり前の八幡平市でありたいですね。



環境のみらい

☎・内線1137 市市民部市民課



水はすべての人が利用するものです

◆地域の河川・水路はきれいに
生活雑排水は、水域の環境に大きな負担を与えます。次の点に注意し、わたしたちが今からできることに積極的に取り組みましょう。
①洗剤の使用は適量に 洗濯や食器を洗う時は洗剤を使いすぎないようにしましょう。食器の汚れは布や紙で一度ふき取りましょう。
②米のとぎ汁の有効利用を 水路の悪臭などの原因となる米のとぎ汁には、多くの栄養素が含まれています。植木や花の水やりなどに利用しましょう。
③生ごみは流さないように 生ごみは水を切り、可燃ごみで出するか、たい肥化しましょう。また、食べ残しや飲み残しをしないよう適量を調理しましょう。
④天ぷら油は排水口に流さない 新聞紙や市販の油凝固剤を使って燃えるごみで出しましょう。
⑤川や水路に物を流さない ごみはもちろん、草木も流さないようにしましょう。水がせき止められたり、悪臭がしたりする原因となります。